

ニューズレター 第28号  
平成12年4月15日

## 日本精神保健看護学会

-The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing-

事務所：〒113-8622  
文京区本駒込5-16-9  
日本学会事務センター  
(理事長 中山洋子)  
TEL：03-5814-5810  
FAX：03-5814-5825

### 第10回 日本精神保健看護学会 総会・学術集会 メインテーマ：看護理論とその精神科実践への適用

○日時：2000年6月3日(土)・6月4日(日)

○場所：福島県立医科大学看護学部 (福島県福島市光が丘1番地)

#### <プログラム>

##### 【第1日目：6月3日(土)】

8:30-9:30 受付

9:30-12:00 ワークショップ

[テーマ]

[担当責任者]

[看護学部棟]

1) 体験グループ

武井 麻子 (日本赤十字看護大学)

2) 「再構成」の有効な活用法

池田 明子 (北里大学)

3) 精神看護学の教育展開

瀧川 薫 (岡山県立大学)

4) 精神科看護事例検討会①

平澤 久一 (和歌山県立医科大学看護短期大学)

5) 精神科看護事例検討会②

小林 信 (北里大学)

6) リラクゼーションの基礎と呼吸法

五十嵐透子 (金沢大学)

7) ナースによる心理教育グループの活用

羽山由美子 (聖路加看護大学)

8) 当事者活動の現在

田中美恵子 (東京女子医科大学)

9) リエゾン精神看護：アサーション(自己表現)トレーニング

野末 聖香 (横浜市立市民病院)

10) 英国の地域精神科看護システムとクリニカルスーパービジョン

Philip J Barker (Newcastle大学)

萱間真美 (東京大学)

11) 精神看護学臨地実習の展開-実習の具体的方法と課題-

粟生田友子 (福島県立医科大学)

12:00-13:00 昼食

13:00-13:30 第10回 日本精神保健看護学会・総会

[講堂]

13:45-15:45 講演 I

[講堂]

「オレム・アンダーウッド理論と日本の精神科看護実践への適用」

講師 Patricia Underwood PhD,RN (兵庫県立看護大学)

15:45-16:00 休憩

16:00-17:30 ケース・プレゼンテーション

[講堂]

司会 中山 洋子 (福島県立医科大学)

コメンテーター Patricia Underwood (兵庫県立看護大学)

17:45-19:00 懇親会 光が丘会館 (福島県立医科大学構内)

##### 【第2日目：6月4日(日)】

9:00-12:00 一般演題発表：1題発表15分、討議15分

[看護学部棟]

第1群 精神科急性期のケアに関すること

① 精神分裂病患者の急性状態を捉える際の看護者の判断基準に関する予備調査

笹木弘美 (北海道医療大学)、他

2 青年期自殺企図好転症例への看護援助に関する考察

福井美貴 (浜松医科大学大学院)、他

- 3 精神科急性期治療病棟における治療・ケアと再発との関連に焦点をあてた予備調査  
- 精神障害者の地域生活の促進のために -

?松手直子  
?田中洋子

- ④ 精神科急性期治療病棟における家族援助  
- 初回入院の分裂病圏の事例を通して -

榎戸文子 (千葉県精神科医療センター)

- ⑤ 精神科救急入院直後の与薬に関する研究  
- 保護室での看護者の関わり方 -

野田智子 (東京都立松沢病院)、他

- ⑥ 精神科急性期における頓用薬の使用状況とそれに関わる看護判断やケア

江波戸和子 (東京女子医科大学)

## 第2群 精神科慢性期のケアに関すること

- ① 精神障害者のイレウス症状に対する観察内容についての検討

加藤寿貴 (東京都立梅ヶ丘病院)、他

- ② 精神分裂病患者の長期入院生活における問題  
- 患者の言動に焦点をあてた予備的調査 -

上野恭子 (筑波大学医療技術短期大学部)、他

- ③ 精神分裂病患者の退院に向けた看護婦 (士) の関わり

井田めぐみ (東京都精神医学総合研究所)、他

- ④ 看護者が実施するSSTの継続の要因

○ 宮崎洋子 (大阪府立看護大学)、他

- ⑤ 長期入院患者の退院に向けて効果的な看護介入方法の抽出

石橋照子 (島根県立看護短期大学)、他

- 6 精神障害者の家族の対処：高齢者の場合

岩崎弥生 (千葉大学)、他

?三浦洋子

## 第3群 精神科における看護の取り組みに関すること

- ① 桜ヶ丘記念病院における精神衛生法時代 (中期) の看護者の役割  
- 男子閉鎖病棟と開放病棟を中心として -

白石壽美子 (慶應義塾看護短期大学)

- ② 患者理解につながる精神科アナムネ用紙の開発とその有効性の検討

森啓子 (横浜州市市民病院)、他

- ③ 「患者の知る権利」をめぐる精神科看護婦の対応

○ 日向朝子 (湘南さくら病院)、他

- 4 うつ病患者への看護ケアの視点  
- 3-5年目看護者の語った内容から -

荻野夏子 (日本赤十字看護大学大学院)、他?

- 5 精神看護における自我心理学的展開

? 石束佳子 (京都中央看護専門学校)、他

- ⊗ 患者-看護婦関係を考える  
- 婦長さんちよっと -

森下久美子 (元兵庫県立光風病院)、他

?池田静江

?長田洋子

## 第4群 精神保健等に関すること

- ① 臨床看護者のユーモアの活用とユーモアセンス

○ 中西陽子 (金沢大学)、他

- ② アルコール依存症の夫を抱える妻が自分を取り戻す過程  
- 自助グループに参加する妻の周辺問題からの解放 -

○ 平澤多恵子 (富山医科歯科大学大学院)、他

- ③ タッチング教育：Self-Esteemとタッチング行為の関係性

五十嵐透子 (金沢大学)

- ④ 精神科病棟における“難しい患者”の看護  
- 「しがみつく患者」との関わり方の分析を通して -

古城門靖子 (神戸大学医学部附属病院)

- ⑤ 我が国の看護学関係文献にみる薬物依存症者への看護

寶田穂 (大阪市立大学看護短期大学部)

- ⑥ 強迫性障害の母と娘に生じた相互関係の変化

長谷川雅美 (三重大学)

第5群 地域精神保健看護に関すること

- ① 地域在住高齢者の自己決定意識と虐待予防に関する研究  
鈴木英子 (杏林大学)、他
- ② 保健婦による精神衛生活動の扱う「問題」とは何か？  
－ケース把握に至るまでの経緯とその後の保健婦活動の関連－  
山村礎 (東京都立保健科学大学)、他
- ③ 漁村部におけるうつ状態の背景と対策上の課題  
福澤陽一郎 (島根県立看護短期大学部)、他
- ④ 離島での精神障害者家族会の育成支援における保健婦 (士) の役割  
新井信之 (元東京都島しょ保健所三宅出張所)
- 5 単身生活をしている精神障害者の日常生活上の工夫や配慮  
清水邦子 (千葉大学)、他
- ⑥ 看護者が運営する精神障害者小規模共同作業所における援助内容の分析  
川添由紀 (東京女子医科大学)

第6群 リエゾン精神看護に関すること

- ① リエゾン精神専門看護婦の活用の実際  
－スタッフナースを対象としたアンケート調査より－  
大川貴子 (福島県立医科大学)
- ② 地下鉄サリン事件被害者にみられる精神的後遺症  
－アンケート調査の報告－  
川名典子 (聖路加国際病院)
- ③ 患者の意志を尊重する支援的関わり  
－対人交流の中で育まれる満足感－  
山元恵子 (国立療養所宇多野病院)
- ④ 精神科病棟におけるストレスとバーンアウト傾向との関連  
山崎登志子 (宮城大学)、他
- ⑤ 胃腸症状を訴え入退院を繰り返す透析患者の精神的援助  
－身体化からの解放に向けて－  
中野悦子 (神戸市立中央市民病院)
- 6 看護婦の精神的負担を軽減させるグループの作用  
－当院看護婦の実態調査より－  
野村晶子 (虎の門病院)、他

第7群 看護学生・看護教育に関すること

- ① 看護学生の対人関係におけるマイクロカウンセリング的アプローチ  
－共感の視点から－  
永野ひろ子 (静岡県立大学短期大学部)、他
- ② 精神看護実習における学生の不安と発達の間連  
－専攻学科の違いによる発達の特徴との間連－  
宮崎徳子 (静岡県立大学短期大学部)、他
- ③ 看護学生のストレスに関する研究の動向  
上平悦子 (奈良県立医科大学看護短期大学部)
- ④ 看護学生のストレスについての生活調査  
宮林郁子 (鳥取大学)、他
- ⑤ 看護学生の精神看護学実習での治療的人間関係形成の諸局面 第1報  
金子道子、他
- ⑥ 学生のセルフケアを支援する  
－PTSDを発症した1事例からネットワークづくりまで－  
松村幸子 (浜松医科大学)、他

12:00-13:30 昼食  
13:30-15:30 講演II

[講堂]

「人間関係論と精神科看護実践への適用」

講師 Philip J Barker PhD, RN (University of Newcastle)

## 《注意事項》

### <一般演題について>

発表に際しては、スライド・OHCが使用できます。当日会場にて追加資料の配布はできません。

### <昼食について>

大学付近には、お食事処はほとんどございません。お弁当は一食 1,000 円（飲み物付）で予約を承りますので、希望される方は振込用紙にご記入下さい。なお、お弁当の支払いは、学会当日にお弁当と引き換えでお願いいたします。

### <宿泊について>

同封しました『宿泊のご案内』をご参照下さい。なお、「山水荘」に宿泊された場合、学会会場と旅館との往復には専用バスをご利用いただけます。

### <その他>

大学構内（看護学部棟・講堂）は禁煙となっております。

## 平成12年度総会・学術集会・懇親会の申し込みについて

平成12年度総会、第10回学術集会の「参加申し込みハガキ」と「振込用紙」が同封されています。総会・学術集会に参加される方は、同封の「振込用紙」にてご入金の上、「参加申し込みハガキ」（総会を欠席される方は、必ず委任状に署名捺印して下さい）を学術集会事務局まで5月15日（月）までにお送り下さい。学術集会参加費は、会員5,000円、非会員6,000円、学生3,000円となっております。懇親会に参加される方は、懇親会費2,000円も同時にお振込み下さい。前回のニューズレターでは、非会員7,000円になっていましたが、6,000円に変更となりました。

なお、振込用紙はお一人様1枚でご使用頂き、通信欄の該当箇所に必ずチェックをして下さい。専用の振込用紙がない場合は、郵便局備え付けの用紙にて「02230 - 8 - 93409 日本精神保健看護学会・学術集会」宛に、会員・非会員・学生、懇親会参加の有無、弁当の希望を明記の上、合計金額（弁当代は除く）をお振込みください。また、学会当日は振込領収書の控えをご持参下さい。

## 第5回ワークショップ「精神障害者の家族支援と看護」のお知らせ

教育活動委員会主催の第5回ワークショップが開催されます。ふるってご参加下さい。

日時：平成12年5月20日（土） 9:30～15:30（9:00受付開始）

9:30～11:30 講演「日本の行政施策にみる家族支援の問題と看護の展望」  
講師：岡谷恵子氏（日本看護協会常任理事）

13:30～15:30 事例検討会

場所：久留米大学医学部看護学科（旭町キャンパス 久留米市東櫛原777-1）  
西鉄およびJR久留米駅より5,8,9,20,33系統バス（15分）、「大学病院前」下車徒歩5分。  
タクシーでは、JR久留米駅より1,000円、西鉄久留米駅より1,500円程度。

参加費：講義のみ2,000円、講義と事例検討3,000円（当日払い）

お申し込み方法：

FAX、官製ハガキ、電子メールのいずれかに、「ワークショップNo.5参加希望」と明記の上、参加者の住所・氏名(フリガナ)・所属・連絡先の電話・FAX・電子メールアドレス(お持ちの方のみ)・参加の形態(講義のみ参加、または講義・事例検討参加)を記載し、5月12日までに下記までお申し込み下さい。複数人お申し込みの場合は、全員の氏名(フリガナ)、参加形態と代表者の連絡先をお書き下さい。

お問い合わせ・お申し込み：

〒228-0829 相模原市北里2-1-1 北里大学看護学部内  
日本精神保健看護学会ワークショップNo.5事務局 柴田真紀あて  
FAX: 042-778-9824 e-mail: maki@nrs.kitasato-u.ac.jp

## Information(他学会・研究会等のお知らせ)

「国際精神保健シンポジウムin沖縄－国際精神保健連盟(WFMH)2000年西太平洋地区会議－」

大会テーマ：－アジア・太平洋諸国の精神保健ユーザーとの連帯をめざして－

日時：平成12年10月6日(金)、7日(土)

場所：沖縄県那覇市沖縄パシフィックホテル

主催：世界精神保健連盟、沖縄県精神保健福祉協会、琉球大学医学部精神神経科学講座

問い合わせ：琉球大学医学部精神神経科学講座（担当 山本和儀）

Tel.098-895-3331(内線2487), Fax.098-895-1419

(編集委員：田中美恵子、岩瀬信夫、中山洋子、若狭紅子、菅原とよ子、川添由紀、青本さとみ)